

# 事業報告書

(課題解決特別事業)

申請団体名： 三保地区まちづくり推進委員会

[ 令和5年度採択分 ]

## 令和5年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名

第11回石州和紙 灯ろうまつり ～58 災から 40 年 その想いを後世に～

事業費（予算額）： 455,080 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業： 393,480 円）

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

昭和 58 年豪雨災害から 40 年、昭和 18 年の水害から 80 年の節目の年となる。より多くの住民に意識を高めてもらい、災害から命を守るための契機を創出したい。三隅地域全体に関わることであり、他の地区へも取り組みを拡大したい。

D

事業の概要

- ・例年開催している灯ろうまつりを、58 年豪雨災害から 40 年の節目の記念の催しとして拡大開催することで、三保地区から三隅地域へ展開した。
- ・灯ろうの作成を三保地区住民と三隅地域の保育園（所）、小学校、各まちづくりセンター、まちづくり委員会などに依頼。
- ・多くの施設が集まる三隅中央公園は、普段災害に関心の薄い方も利用しているため、この場所で事業を実施することで、住民の意識全体の底上げを目指した。
- ・多くの方に関心をもっていただくことで、事業の担い手を増やし、事業の継続性を高める。
- ・石州和紙のみを材料とした灯ろうを作成することで、和紙の特徴を知る機会とした。

C

課題の解決度合（10 段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

									○	
--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--

上記評価の理由

三隅中央公園を会場にしたことで多くの方が来場し、災害に対する意識の底上げが図られた。半面、会場が遠くなったため、三保地区の住民の参加が減少した。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を 10 に近づけるために）

58 年豪雨災害の記憶と記録を後世に伝えるため、小学校、中学校への働きかけをするとともに、三隅町全域の取り組みを継続する。三保地区の住民が参加しやすい方法等を検討する。

記念講演会



参加者のみなさん



灯ろう点灯

